

総務・経済常任委員会意見交換会

総務・経済常任委員会では11月19日と20日、木古内商工会・木古内町観光協会、上磯郡漁業協同組合、新函館農業協同組合の皆さんと、意見交換会を開催しました。

日頃抱えている課題や要望など、活発な意見交換会が出されましたので、主な内容についてお知らせします。



商業振興や観光交流センター建設等について
意見交換しました 木古内商工会

質疑応答

商工会 駅周辺整備 意見を聞いて

竹田委員長 北海道新幹線道南利活用推進協議会で、町内のJ.V.に要望活動を行っています。商工会として経済効果等について分析をしていますか。

伊藤事務局長 平成17年から、北海道知事や鉄道・運輸機構、J.V.等に継続して要望活動を行っ

ていますが、各店の熱意を伝えるためにも、それぞれが常に顔を出して利用していただくことが大事だと思っています。経済効果等については、聞き取りによるアンケート調査を実施したいと思っています。

平野委員 今後の議会活動につながるためにも、具体的な生の話を聞かせてください。

北島会長 2030年の人口動態調査では、木古内町の人口は約2700人となっています。新幹線が開業するとはいえ、地域で商売を続けるには、人口が大きな要因になると思っています。行政や議会、商工会と意思疎通を図り、お互いの立場をきちんと理解していくことが大事だと思います。

佐藤委員 観光交流センターについては、どのような考えを持っていますか。

北島会長 関係する担当者からは、情報提供等をお願いしています。

飲食店や一次産品など、関係者から意見を聞いているようですが、どのようにに接点を持てばいいの

かよくわかりません。観光交流の部分は民間も関係しますので、きちんと意見を吸い上げて反映してほしいと思っています。

木村産業経済課長 観光交流センターの機能は、飲食と交流、観光情報の発信という3つを想定しています。現在、観光協会や駅前中央商店街組合等を含め意見をまとめており、今年度に発注する基本設計に活かしたいと思っています。

観光協会 体験観光 事業法人化が目標

又地委員 現在、抱えている問題をお聞かせください。

東出会長 体験観光については、設立当時から3年を目標に法人化したいということを考えています。

農家や漁業関係者にはお金を支払っていますが、その他はすべてボランティアで行っています。

法人化するためにボランティアで貯蓄していますが、町からの支援がなければ事業化は進んでい

かないと思っています。木村産業経済課長 町からの支援については、はじめて聞きました。

行政では、人的支援を行う中で取り組んでいますが、現在ある余剰金を含め今後、体験観光推進協議会の考えも尊重しながら相談していきたいと思っています。

又地委員 法人化するためには、どれくらいの資金が必要なのですか。

東出会長 ボランティアではなく、自立ができてお手伝いしている皆さんに手当を出せるような状況にならなければと判断しています。

東出委員 いまは、東日本大震災の関係で札幌近郊から来ていますが、将来展望はどうなっていますか。

東出会長 今回のモニターツアーでは、体験のため北秋田市から20名のかたに来てもらっており今後、各方面にPRしてもらうことになっています。また、昨年からは、渡島西南4町が連携を図るためのシステムづくりに取り組むことにしています。